

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	平成30年度安全で快適な自転車利用環境の創出に関する検討業務
業 務 概 要	本業務は、自転車通行空間整備に伴う事故件数等の変化の検証、路肩や交差点等自転車通行空間の安全性・快適性の改善に関する好事例の収集、世界に誇るサイクリング環境創出に資する事例の収集、安全で快適な自転車利用環境の創出に関する検討を行い、自転車の計画的かつ総合的な利活用の推進を図ることを目的とする。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部署の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 石原 康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1 支出負担行為担当官 北海道開発局開発監理部長 佐藤 肇 北海道札幌市北区北8条西2丁目 支出負担行為担当官 東北地方整備局長 高田 昌行 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 支出負担行為担当官 北陸地方整備局長 吉岡 幹夫 新潟県新潟市中央区美咲町1丁目1番1号 支出負担行為担当官 中部地方整備局長 勢田 昌功 愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番1号 支出負担行為担当官 近畿地方整備局長 黒川 純一良 大阪府大阪市中央区大手前1丁目5番44号 支出負担行為担当官 中国地方整備局長 水谷 誠 広島県広島市中区上八丁堀6番30号 支出負担行為担当官 四国地方整備局長 平井 秀輝 香川県高松市サンポート3番33号 支出負担行為担当官 九州地方整備局長 伊勢田 敏 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 支出負担行為担当官 沖縄総合事務局開発建設部長 中島 靖 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号
契 約 年 月 日	平成30年 9月26日
契 約 業 者 名	一般財団法人国土技術研究センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区虎ノ門3丁目12番1号
契 約 金 額	¥15,076,800円(税込み)
予 定 価 格	¥15,400,800円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務は、自転車通行空間整備に伴う事故件数等の変化の検証、路肩や交差点等自転車通行空間の安全性・快適性の改善に関する好事例の収集、世界に誇るサイクリング環境創出に資する事例の収集、安全で快適な自転車利用環境の創出に関する検討を行い、自転車の計画的かつ総合的な利活用の推進を図ることを目的とする。 本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、知識、経験及び業務への取り組み姿勢に関する技術提案を求め、簡易公募型に準じたプロポーザル方式により選定を行った。 (一財)国土技術研究センターは、技術提案書において、総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 ( 自 )	平成30年 9月27日
履 行 期 間 ( 至 )	平成31年 2月28日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。